

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	簿記会計	科目名	商業簿記Ⅱ	科目コード	T1790B1
配当期	前期・後期・通年	授業実施形態	通常・集中	単位数	2単位
担当教員名	河本 順子	履修グループ	2I(BI/BO)	授業方法	講義
実務経験の内容	企業における実務経験、また約10年間大手銀行系列会社でのデータベース構築経験、企業や官公庁への出講経験を活かし、簿記・経理の実務やオフィスアプリケーションの活用について実践的に講義する。				
学習一般目標	簿記とは、企業活動の経営状況や財政状況を明らかにするために、日々の経済活動を帳簿に記録する技術のことである。簿記を学習することで、決算書類を読む力やビジネスの基本でもあるコスト感覚を身につけることができる。本授業では、日本商工会議所主催の日商簿記2級（商業簿記）の基礎から応用レベルの知識を修得し、実務で活用できることを目指す。				
授業の概要 および学習上の 助言	商業簿記の対象となる経営活動 仕訳 決算 問題演習				
教科書および 参考書	教科書：サクッとわかる日商2級 テキスト 商業簿記 ネットスクール出版 サクッとわかる日商2級 トレーニング 商業簿記 ネットスクール出版				
履修に必要な 予備知識や 技能	1年次前期に学習した商業簿記Ⅰの知識を有していることが望ましい。				
使用機器	電卓				
使用ソフト					
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1・2	各仕訳ができる。			
	1・2	決算手続きができる。			
	3・5	授業に意欲をもって取り組むことができる。			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合	50	10					40	100	
	学部 D P	1.知識・理解	30	10						40
		2.思考・判断	20							20
		3.態度							20	20
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験	定期試験期間中に試験を行う。								
	クイズ 小テスト	授業期間中に小テストを行う。								
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	授業態度 (集中して授業を受けているか) 及び授業参加 (積極的に発言しているか) により評価する。								

授業明細表

回数／日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 4/8	簿記の本質 第1章 現金と預金 1 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第2週 4/15	第2章 商品売買 2～6 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第3週 4/22	第3章 手形、その他の債券・債務 7～13 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第4週 5/13	第4章 固定資産 14～22 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第5週 5/20	第5章 有価証券 23～28 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第6週 5/27	第6章 外貨建取引 29 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第7週 6/3	第7章 引当金 30～31 節 第8章 純資産会計 32～36 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第8週 6/10	第9章 税金の仕組みと処理 37～40 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第9週 6/17	第10章 仕訳集計表 41～42 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第10週 6/24	第11章 決算手続きと精算表 43～45 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第11週 7/1	第12章 月次決算 46 節 第13章 本支店会計 47～48 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第12週 7/8	第14章 連結会計 49～50 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第13週 7/15	第14章 連結会計 51～53 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第14週 7/22	第15章 製造業の決算 54～55 節	講義 問題演習	誤答問題の再確認
第15週 7/29	まとめ	講義 問題演習	誤答問題の再確認